

第 3 号議案

平 成 2 8 年 度

亀岡市簡易水道事業特別会計予算

## 平成28年度亀岡市簡易水道事業特別会計予算

平成28年度亀岡市の簡易水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ

947,300千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

(地方債)

第2条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表地方債」による。

(一時借入金)

第3条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、30,000千円と定める。

平成28年2月29日提出

亀岡市長 桂川孝裕

第1表 歳入歳出予算

1 歳入

| 款          | 項        | 金額           |
|------------|----------|--------------|
| 1 使用料及び手数料 |          | 千円<br>79,283 |
|            | 1 使用料    | 79,223       |
|            | 2 手数料    | 60           |
| 3 国庫支出金    |          | 187,075      |
|            | 1 国庫補助金  | 187,075      |
| 5 財産収入     |          | 220          |
|            | 1 財産運用収入 | 220          |
| 7 繰入金      |          | 66,569       |
|            | 1 他会計繰入金 | 33,352       |
|            | 2 基金繰入金  | 33,217       |
| 8 繰越金      |          | 1,000        |
|            | 1 繰越金    | 1,000        |
| 9 諸収入      |          | 10,853       |
|            | 2 雑入     | 10,853       |
| 10 市債      |          | 602,300      |
|            | 1 市債     | 602,300      |
| 歳入合計       |          | 947,300      |

2 歳出

| 款         | 項         | 金額           |
|-----------|-----------|--------------|
| 1 管理費     |           | 千円<br>70,787 |
|           | 1 施設管理費   | 70,787       |
| 2 簡易水道建設費 |           | 810,543      |
|           | 1 簡易水道建設費 | 810,543      |
| 3 公債費     |           | 63,970       |
|           | 1 公債費     | 63,970       |
| 4 予備費     |           | 2,000        |
|           | 1 予備費     | 2,000        |
| 歳出合計      |           | 947,300      |

第2表 地 方 債

| 起債の目的       | 限 度 額  | 起債の方法  | 利 率   | 償 還 の 方 法  |
|-------------|--|--|---|--|
| 簡 易 水 道 事 業 | <p style="text-align: center;">千円<br/>602,300</p> <p>(ただし、発行価格が額面金額を下まわるときは、その発行価格差減額をうめるため必要な金額をこれに加算した額)</p> | <p>(1) 普通貸借<br/>(2) 証券発行<br/>(3) 本債にかわる短期債を起すことができる。</p> | <p style="text-align: center;">5%以内</p> <p>(ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金等について、利率見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)</p> | <p>政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定するものによる。ただし、市財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、又は繰上償還若しくは低利に借換えすることができる。</p> |